

令和4年度事業報告書

丹波篠山市垣屋159-2

特定非営利活動法人バイオマス丹波篠山

理事長 高橋 隆治

電話番号 079-593-1150

1 事業の成果

本年度も昨年度同様、コロナ禍の中での事業運営となり会議開催もままならない中での年度でした。しかしコロナが5月に第2類から第5類に引き下げられ徐々に社会活動が活発化してきたのですが、中々本来の社会活動に戻るには戦々恐々でした。

対面会議ができてマスクはまだ外せないかな？という日々でしたが長野県北アルプス森林組合様はじめ、京都府林業研究グループ、東広島吉川財産区様と日本各地よりのご視察を受け入れさせていただき、当団体の取り組む「木・気遣い」を学んでいただきました。各地の課題として共通していたのは、高齢化、関心のなさ、所有界の明確化、場所によっては森林環境譲与税の利用と多岐にわたるものでした。その悩みを共有するとともに、森林資源の活用という共通の認識ができたことは意義のある視察受け入れだと感じております。



本年度は大きな賞をいただく機会がありました。

近畿ブロック林業研究グループ発表会の機会をいただきました。そもそも、兵庫県には林業研究グループが9団体あり入会2年後にはその中で選抜されての晴れ舞台。神戸市において開催され、滋賀県、京都府、奈良県、三重県、和歌山県、兵庫県、大阪府の7団体が日ごろの活動を発表しました。さすがは近畿地区ともなれば事業内容も濃密な事業を開催されており僅差においての選抜受賞でした。3月には東京にて全国林業グループコンクールがあるために発表内容の精査並びに肉付けを行いより理解しやすい内容に煮詰め発表に挑みました。



当日は全国のブロックより7団体が出場。発表内容は学術的な内容から実際に伐採の安全対策を中心に人づくりを行っているなど多彩でした。当方発表時にはパワーポイントの設定などでハプニングがあったものの、逆に発表時間を少し多めにいただき発表できました。今までの活動内容を認められ農林大臣賞まではわずかに手が届かなかったものの、次点の林野庁長官賞を拝受することができました。弊団体の会員はもとより兵庫県、兵庫県林研グループ事務局には多大なるご指導をいただいた結果と感謝しております。

前年度より引き続き兵庫県内の木工家との連携の中で、「一脚展」というイベントを開催しました。NPO 法人バイオマス丹波篠山が倉庫乾燥させていた広葉樹板を提供し、作家さんがいすなどのスツールを作成する展示会。兵庫県木材利用班の仲介でプロジェクトが出発し、神戸市の竹中工務店にて「第12回 座る・くらべる一脚展+（プラス）2022」が9月10日～25日にかけて開催されました。（<https://ikkyakuten.jimdofree.com/>）作家さんのお話では、どこにどんな県産材があるのか知らないし仲介がないとのこと。今後、広葉樹伐採木の製材～販売までを視野に入れ事業編成を考える必要があります。薪炭林としての利用を過去の先人たちは大事にしたため丹波篠山には多くの広葉樹林があります。これをチャンスに利用を進める方向で次の事業展開を考えています。



里山育成研修会は県内の方に向けて募集をしたところ多くの方々にご参加いただき回によっては定員オーバーをする回もあり盛況に学習が行えたと考えます。1回目は生物多様性から丹波回廊を考え2回目、3回目は丹波市青垣町 フォレストドアにお邪魔し足立代表、事業部代表より人工林の利活用、間伐材、空間利用について御講義いただきました。4回目は丹波篠山市里山工房雲部にて丹波篠山市に拠点を構える稲葉崇史様、児玉正和様に具体的な広葉樹入手方法や木工をするうえでの必要な条件を教えてくださいました。5回目は丹波市でご活躍の里山伝道師の山崎春人様が「里山を食す」ことなどを、薪ビジネスの可能性を高橋が、内田圭介君が八百材舎の事例発表を、という内容でした。企画・運営は毎度毎度ながら大変ですが、今回はコーディネーターという立ち位置も実践し当団体の資質向上が図れた学習会運営でした。

丹波篠山市内2校（丹波篠山市立西紀小学校、丹波篠山市立古市小学校）の森林環境教育のメニューを考えて里山の持つ多面的機能の理解～利用までの仕組みを午前中という短時間ではありますが事故なく無事に開催することができました。5年生1クラス15名程度という人数ですが元気いっぱい思ったより早く伐倒でき、丸太切大会を開催しました。さすがに大変だった様子で、チェーンソーにより切断し機械のメリットや危険性を説明し興味深く学んでいただきました。



木材利用啓発では、組手什（くでじゅう）がふるさと納税返礼品に指定を受けることができ、当年度500本の販売ができました。丹波篠山市内においては先述の学習会にも利用し木使いができたことをうれしく思います。活動は丹波篠山市内に収まらず、明石農村漁業祭や神戸市内で開催されたひょうご木製品マイスターなどで展示実演し簡単に木材を組み立てられるDIYの良さをプレゼンテーションしました。



また、以前から計画していた割りばし製造機を導入し試験製造し11月12日に開催された全国海づくり大会 in 明石の主催関係者の弁当用に1000膳利用していただきました。もしかすると天皇さまにもご利用いただいたかもしれません。その後、兵庫県神戸市の老舗駅弁で有名な淡路屋さまにも9000膳ご利用いただいています。

その中で割りばしの仕分け並びに封緘作業に丹波篠山市小枕に事務所をもつ福祉作業所の櫻（たすき）農園さんに作業委託し林副連携の足掛かりができました。地味な仕事ですが大変助かりました。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

割りばしの利用についてはまだまだですが、持続可能な社会を形成する上では日々の暮らしの中で木を使うシチュエーションは少ないため割りばしを使うことで日頃の木（気）づかいができるものとして営業展開を行ってまいります。

ペレット製造では2号機が稼働し100t程度の製造ができています。長らく念願であった今田薬師温泉に丹波篠山市産木質ペレット供給が可能となり、目下間伐材の利用促進につながっていますが、原木～乾燥1次割り乾燥～2次粉碎～木質ペレット製造という過程を経ることから製造原価が高いため、製材端材よりの製品

製造を考えていく必要があります。割りばし、組手仕（くでじゅう）製造時のカンナくずなど利用ができればいいのですが少量の為理想までは程遠い量です。



ペレット製造をなくすわけではないのですが、薪炭林の利用から出てくる、薪やチップに軸足を移すことも研究する必要があります。海外では原木調達が高価で2×4材など大量に製造する折に発生するおが粉、プレーナーくずを利用し木質ペレット製造も高価で低炭素社会構築という理想にはやはり価格も大事であると考えるところです。



事業の軸足を移すためにはボトルネックである原木の確保が重要です。

しかしながら森林法によると山林にて伐採を行うためには伐採届を主管市町村に提出する必要があります。所有森林の場所を確認し、伐採周辺所有者に合意を取りその後提出し許可が下りてから伐採。そもそも、自分の山がどこにあるのか？不明確な所有者界で隣地は誰の所有者か？不明確を明確にする必要がありますが、丹波篠山市内において明確になった地籍はいまだに一桁台。この点を打開する必要があります。

加古川流域連携もコロナ対策を万全にした上で開催できました。45名の加古川水系下流域の農業関係者や行政関係者方が里山救援隊のメンバーとして参加いただき、約200㎡の人工林に生えこんだ孟宗竹を粉砕機にて粉砕し竹チップを製造しました。破砕機の調子が悪く思った量の竹破砕ができませんでした。メンテナンスを丁寧に行うことの重要性が再確認できましたが、センサーが熱により異常反応というメーカーからの回答でした。今年もドングリの種を回収し種を植え付けたいと考えます。



丹波篠山木の駅プロジェクトの推進に際し、搬出体験伐採技能向上活動において、伐採搬出体験会は2回と少なかったのですが、合計14名の参加がありました。少し少ない人数でしたが、実演、実体験することで日頃の山行の安全作業を再確認できたものと感じています。今後も少ない人数でも開催していこうとスタッフと反省会において確認したところです。



森の健康診断も開催することができました。丹波篠山市不來坂の人工林にて9人の参加がありました。この事業も長期にわたり開催しており13回を迎えました。100円均一でそろそろ機材を利用し人工林の混み具合から樹幹距離を推定し、間伐率を推定するという画期的な手段です。過去の調査からおおよそ、丹波篠山市では間伐遅れの人工林ばかりです。地道な取り組みですが境界明確などの地道な取り組みも並行していかなければならないところを痛切に感じております。



前年度の締めを流用します。

「木を切る」という作業にしても「運搬」という作業にしても1つ間違えば「自分の命を切る」ということにつながります。危険だからしないのではなく、危険と隣り合わせだがどのように作業すれば安全か？という思慮、力学など知見を広めて作業するということを教育することが肝

要と考えます。里山と対話し今後も地道な取り組みを推進し、山に入る人づくりを進めていきます。

2 令和5年度事業計画

- ・経営計画策定箇所への推進及び造林事業の推進
- ・丹波篠山木の駅プロジェクト材搬出促進
- ・木質ペレット燃料販売、組手仕（くでじゅう）、丹波篠山市産割りばし販売、薪販売等のビジネス展開で、丹波篠山産木材利用の促進
- ・木工製品のプロデュース利用推進
- ・市内工場、工業団地、薪ボイラー設置、発電、熱源供給に向けての研究の推進
- ・NPO バイオマス丹波篠山製造バイオマスの利用推進
- ・NPO バイオマス丹波篠山新聞の発行年2回
- ・木質バイオマス燃料暖房器具の展示会の開催
- ・森づくり連携ネットワークへの参画
- ・県、市補助事業、民間事業受託
- ・他団体との連携の促進
- ・会員の拡大

3 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

① 通常総会

書面決議実施日 令和4年12月9日
 決議書提出者 17名
 賛成 13名
 未提出 4名
 議事内容 令和3年度事業報告並びに決算報告
 令和4年度事業計画、活動の承認

② 役員会 5～8月 適宜 事業運営について

③ 理事会

令和3年

7月 1日 理事会 事務所にて、決算及び新年度事業について
 8月 5日 理事会 事務所にて、定例会開催、総会の開催方法について
 9月 2日 理事会 事務所にて、近畿ブロック林研グループコンクール、東播用水来所対応、今シーズンのペレット配達について
 10月 1日 理事会 事務所にて、10月11月の事業スケジュールについて
 12月 1日 理事会 事務所にて、12月1月のスケジュールについて

令和4年

1月 10日 理事会 事務所にて、里山育成研修会などのスケジュール及び進行状況について
 3月 1日 理事会 事務所にて、里山育成研修会、間伐補助3月末期限の契約について
 4月 21日 理事会 事務所にて、スケジュール
 6月 1日 理事会 事務所にて、令和3年度決算・土場移転・スケジュールについて

(2) 特定非営利活動に係る事業

	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の 人数	受益対象者の範 囲及び人数	支出額 (千円)
バイオマスによる代替エネルギーの研究	・ペレット製造販売 103,070 kg (181.28 m ³) ・森林整備	継続	丹波篠山市内	6名	森林所有者及びバイオマスエネルギーに関心のある人	18,975
		継続	丹波篠山市内	15名		7,615

まちづくりの為の緑化推進	・小学生間伐体験学習 (2校)	2回	丹波篠山市内	6名	森に関心のある小学生	70
	・伐採木搬出体験会	1回		5名	森に関心のある市民	50
	・薪シェアリング	1回		5名		23
	・森の健康診断	1回		4名		60
	・加古川流域連携里山保全活動	1回		9名		126

令和4年度 特定非営利活動記録

月日事業

場所

7月12日	林業研究グループ発表打合せ (農林課長外1名、理事長)	事務所
13日	長野県北アルプス森林組合来社 (見学)	事務所 2名
26日	京都府林業研究グループ来社	工場・土場 46名
27日	環境審議会 (理事長)	丹波篠山市民センター
8月4日	林業研究グループ発表打合せ (農林課長、理事長)	事務所
10日	ふるさと納税返礼品注文第1号受付	組手什
26日	林業研究グループ総会研修会参加 (藤井・川崎・樋口)	多可町・青垣町
9月12日	近畿ブロック林業研究グループ発表コンクール (理事長・藤井・樋口)	神戸市
16日	一脚展 見学 (前川・藤井・樋口)	竹中大工道具館
10月8日	木材フェア 組手什展示 (樋口)	神戸市 元町
12日	西紀小学校 (35名) 伐採・工場見学	垣屋、
17日	東広島吉川財産区研修 来社	10名
19日	割り箸製造研修・機械引き取り (理事長・樋口)	静岡県
22日	明石農村漁業祭 組手什展示 (展示依頼)	明石
30日	里山フェスタ 組手什体験及び展示 (前川、藤井)	並木道中央公園
11月11日	～13日全国豊かな海づくり大会 お弁当用割り箸納品	明石
19日	東播用水水源地里地・里山保全活動 in 西紀 (加古川流域連携里山保全活動) 40人 (理事長外5名)	西谷地区
22日	西紀小学校 間伐体験学習 10人	打坂
24日	再エネルギーワークショップ (理事長、前川、藤井)	丹波県民局
26日	伐採体験会参加 4名 (下田、川崎、小林、前川、藤井)	乗竹
29日	ペレットストーブ展示 ～12月4日まで	市民センター
12月1日	ひょうご木製品マイスター研修 (藤井)	神戸市 県民会館
2日	古市小学校 間伐体験学習 (理事長、細見、細見、前川、藤井、川崎)	不来坂
1月19日	古市小学校 木工体験学習 (前川、藤井)	古市小学校

26日	西紀小学校 木工体験学習（前川・藤井）	西紀小学校
28日	市民センターまつり 29日（前川・藤井）	市民センター
2月4日	第1回 里山育成研修会 参加20人	丹波年輪の里（丹波市）
18日	第2回 里山育成研修会 参加21人	FOREST DOOR(丹波市)
26日	薪シェアリング 参加10名（薄墨（里山ストーブ）、理事長、前川、藤井、川崎）	垣屋 山高建設駐車場
26日	第3回 里山育成研修会 参加15人	FOREST DOOR(丹波市)
3月2日	R4年度 全国林業グループコンクール参加 「林野庁長官賞受賞」（理事長3月2日～3日）	アルカディア市ヶ谷 私学会館(東京都)
4日	森の健康診断（前川・藤井・樋口）	不来坂 9名
11日	第4回 里山育成研修会 参加14人	里山工房くもべ
18日	第5回 里山育成研修会 参加15人	ハートピアセンター（細工所）
4月20日	淡路屋本店訪問（理事長・樋口）	神戸市魚崎南町
5月16日	ひょうご五国ワールド神戸三宮横丁 割箸1,500膳納品	
5月17日	林福連携事業として一般社団法人 禪農園さんに割箸の検品及び袋入れ作業を依頼開始	
5月19日	淡路屋さん 1回目 割箸2,000膳納品	
6月13日	丹波篠山市再生可能エネルギー設備導入可能性調査視察（理事長、丹波篠山市議を含む5名13日～14日）	岐阜県高山市郡上八幡
6月21日	淡路屋さん 2回目 割箸4,000膳納品	

法人名： 特定非営利活動法人バイオマス丹波篠山

活動計算書

令和4年 7月 1日 ~ 令和5年 6月 30日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	50,000	
賛助会員受取会費	0	50,000
1. 事業収益		
ペレット・木材販売売上	11,430,498	
ストーブリース事業収益	907,550	
委託事業収益	6,268,215	
その他自主事業収益	1,550,000	20,156,263
2. その他収益		
受取利息	1,484	
受取配当金	1,274	
雑収益	1,251,514	1,254,272
経常収益計		21,460,535
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	3,109,625	
法定福利費	150,751	
福利厚生費	38,701	
人件費計	3,299,077	
(2) その他経費		
材料費	1,742,408	
外注費	12,408,539	
ペレット・箸在庫増	△ 495,200	
修繕費	1,653,839	
広告宣伝費	485,367	
交際費	158,794	
車両維持費	1,176,017	
保険料	682,230	
減価償却費	2,205,354	
その他経費計	20,017,348	
事業費計		23,316,425
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
諸会費	73,000	
旅費交通費	121,839	
通信費	208,375	
消耗品費	600,040	
水道光熱費	951,397	
租税公課	29,100	
支払手数料	271,942	
地代家賃	220,000	
リース料	594,540	
雑費	532,885	
その他経費計	3,603,118	
管理費計		3,603,118
経常費用計		26,919,543
税引前当期正味財産増減額		△ 5,459,008
法人税、住民税及び事業税		72,000
当期正味財産増減額		△ 5,531,008
前期繰越正味財産額		△ 19,281,316
次期繰越正味財産額		△ 24,812,324

法人名： 特定非営利活動法人バイオマス丹波篠山

貸借対照表

令5年 6月 30日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	4,777,899	
売掛金	1,728,588	
商品(ペレット・箸)	994,400	
短期貸付金	1,000,000	
立替金	0	
未収入金	307,089	
流動資産合計		8,807,976
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
建物附属設備	585,518	
構築物	196,667	
機械装置	7,287,589	
車両運搬具	1	
什器備品	138,540	
有形固定資産計	8,208,315	
固定資産合計		8,208,315
3. その他の資産		
リサイクル預託金	7,630	
その他の資産合計		7,630
資産合計		17,023,921
II 負債の部		
1. 流動負債		
買掛金	1,304,174	
短期借入金	9,076,863	
未払金	632,500	
未払費用	756,825	
仮受金	65,883	
流動負債合計		11,836,245
2. 固定負債		
長期借入金	30,000,000	
固定負債合計		30,000,000
負債合計		41,836,245
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		△ 19,281,316
当期正味財産増減額		△ 5,531,008
正味財産合計		△ 24,812,324
負債及び正味財産合計		17,023,921

法人名： 特定非営利活動法人バイオマス丹波篠山

財産目録

令5年 6月 30日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手許現金	169,545	
普通預金	2,288,354	
定期預金	2,000,000	
定期積金	320,000	
売掛金		
夢こんだ	486,240	
北はりま森林組合	255,200	
ほか6件	987,148	
商品		
ペレット・箸	994,400	
短期貸付金		
内田圭介	1,000,000	
未収入金		
柏原税務署	307,089	
流動資産合計		8,807,976
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
建物附属設備	585,518	
構築物	196,667	
機械装置	7,287,589	
車両運搬具	1	
什器備品	138,540	
固定資産合計		8,208,315
3. その他の資産		
リサイクル預託金	7,630	
その他の資産合計		7,630
資産合計		17,023,921
II 負債の部		
1. 流動負債		
買掛金		
ダレスサンドロジャパン(株)	398,200	
コベックス近畿	260,958	
(株)ブリテック	158,400	
その他8件	486,616	
未払金		
リース料等	445,500	
事務所家賃	132,000	
電気料金	55,000	
未払費用		
6月分給与	756,825	
短期借入金		
高橋隆治ほか	9,076,863	
仮受金		
木の駅実行委員会	65,883	
流動負債合計		11,836,245
2. 固定負債		
長期借入金	30,000,000	
固定負債合計		30,000,000
負債合計		41,836,245
正味財産		△ 24,812,324